

裏で支えてる人ほど、感謝の言葉を伝えられづらい

けど、他人からの感謝で結構動けるんやなって

語り手 畠中菜々子（高校十四期生 総合心理学部）

聞き手 中島優里花

人前に立つことも、裏で支えることも

—小さい時はどんなお子さんでしたか？

大人数でワイワイ遊んだりするタイプで、中遊びもよくやってましたし、外だと三輪車をひたすら乗るような子供生活でした。三歳から英語を習ってて、ECCジュニアに兄弟の影響もあって通わせてもらいました。十年間英語を勉強したことがきっかけで、英語を学ぶ楽しさが、小学生の時から芽生えたかなーって感じですね（笑）。

—じゃあ小さいときから英語を続けてきたんですね。

そうですね、今もぼちぼち英語を喋る機会は、自分で作ったりしてます。

—すごいです。ご兄弟はお姉さん、お兄さんですか？

そうですね、十歳上の姉と十二歳上の兄がいて、年齢差がある兄妹ですね。遊んでもらったのはもちろんなんですけど、その二人が受験勉強を結構してたので、その影響もあって自分も受験勉強したかなって感じですよ。

—じゃあ小さいときから上の大きいお兄さんお姉さんがいらつしやうて。中学から立守ですよ？

そうですね。

—なんで立守に行かれたんですか？

小三の頃から塾に通ってて、行きたい中学も特になかった。勉強に力入れようって無理やり塾に入れさせられた（笑）状態で、その時塾の先生に教えてもらったのが、英語をもっと勉強したいんやったら、滋賀は立守が一番英語に力入ってるよって言われて、じゃあそこ行くかって勉強したのがきっかけですね。

—じゃあ英語を勉強してた延長で、立守に入られた。

そうですね。

—中学の時はなんの部活に入られてたんですか？

中学校はバドミントン部に入ってたのと、生徒会。今も中学は生徒会は選挙方式ですか（笑）？

—多分選挙だったと思います。

—じゃあその時か、（笑）。中学二、三年の時に生徒会に入ってて、中三生徒会長をやってました。

—会長ですか？

会長です。

—じゃあ体育館の前で演説とか。

やりました。その時に一個上の生徒会長と副会長の方に応援演説を頼んで、まあ絶対に当選できるぐらいの気持ちで、応援演説をして喋りました（笑）。

—強い味方がいらつしやうたんですね。生徒会長はなんで立候補したんですか？

もともとやってみたかった。先輩の姿を見てたので、いろんな人たちに聞いてなんか出来たらいいなと思ってたのと、ちょうど自分の代の生徒会メンバーが個性が強すぎて誰が統括するかっていう状況になって

(笑)。自分を変えるしかないかと思ったのが結構きっかけになりましたね。

―演説ではどんなことを話したんですか？

うわー記憶ないっ(笑)。演説は、「みんなが楽しめる文化祭を作りま
す！」みたいな感じで、文化祭をメインに言ってたような気がします。

―生徒会長になってどんな活動をしましたか？

本当に記憶なくて(笑)。生徒会長は特に立守に影響を起こしたとか
いうものはなかったかな。未成年の演説大会かなんかで、代表で喋らし
てもらったりとか、答辞とか喋らしてもらったり、人前に立つて発言す
ることに結構力がついたなーとか、すごい貴重な経験をさせてもらっ
たなと思っています。特に貢献したとかはないけどそういう感じでしたね

(笑)。

―元から人前に立つたりすることは得意っていうか、小学生の時とかも
やってたんですか？

そうですね。やってましたね。小四から児童会やって、そこで副会
長を小六でやったかな。で、募金活動でユニセフとか赤い羽根共同募金
とかの活動をやったりとか、校内放送をしたりとか校長先生とお話し
したりとかを昔からやって、ほんまに目立ちたがり屋みたいな感じでし
た、昔から(笑)。

―昔から活動はされてたんですね、そのまま高校でも生徒会の活動をや
りながらバドミントンをやってたんですか？

そうですね。そんな感じです。

―高校では生徒会長とか副会長には立候補したんですか？

高校は、生徒会長には立候補せず。今って市民ホール長ってありま
すか？

―あります、文化祭の。

それをやってました。あと、二年の時に事務会計の仕事、幹部の会計
の仕事をやってました。そんな感じで文化祭に活動してました。

―文化祭の中で思い出に残っていることはありますか？

それは写真見せますね。中一の頃が自分の文化祭の原点やったなーっ
て思ってた。中一とか中二って琵琶湖学習やってます？

―やってます。

変わらずなんです。なんか安心感あります。

―中一で琵琶湖学習やって、二年で戦争を学びました。

あーそうですね、変わらずなんです。中一の時に琵琶湖学習で番組を
作って、アナウンサーが二人座って喋り始めたりする時に、喋ってくだ
さいって後ろから合図を出す役をして、その時にいろんな人たちが座っ
て前の発表を見てる中で、自分のタイミング次第でミスにもなるし成功
にもなるしっていう係で。

―裏で支えるみたいな。

そうそうそう(笑)。そんな感じの責任感があつた仕事だなって感じた
記憶がありますね。そこから文化祭に興味を持ったりして、(写真を見
て) こんな感じで前に映されて、蛍の慈善活動を動画で喋って、後ろか
ら緊張感持つて見てました。いろんなお客さんが来てくれて嬉しかった
のがいちばんの記憶で。あと、思い出もこれ(ステージの写真)に残っ
ていて、今もこんな感じですよ？ステージが作られるのを生徒会とし
て見て、文化祭がもうすぐ始まるワクワク感とか。今も出店あるんです
か？

―今もあります。

その時とかに立て看板とかポスターを貼り出して、文化祭のムードが

めっちゃ好きやったのが覚えてます。

―お祭り感というか、

そうです。そんな感じですね。

―高校でも文化祭を支える係を担ってたんですか？

やってました。高三の時はコロナの真っ只中の状態で、毎年九月に文化祭やってるけどそれが延期になって。たしか二、三月になっちゃって、みんなモチベが下がってる中で、学校が方針としてやらなきゃいけない、成功させなきゃいけないという中で、裏でみんなでコミュニケーション取ったりとかをしてました。高三の時は劇してると思うんですけど、その時にナレーションの役割をやって、自分のクラスが文化祭ガチで、金賞取るぞみたいな、一位とるぞのクラスやったから。どの役に対してもオーディションがありました。放課後でみんなが集まって最後残ってオーディションして、それで選ばれて、ナレーションさせてもらったのもすごい思い出。

―アナウンサーもオーディションがあったんですか？

そうです。オーディションでした。

―なんの劇をやられたんですか？

「かぐや様は告らせたい」っていうアニメ知ってますか？

―知ってます。結果はどうでした？

一位獲りました。

―すごいです！高校生活で思い出に残ってるものって言ったら文化祭ですか？

うーん文化祭と、今の大学生活に繋がってるっていうので言ったら、APの探究授業とか。

―探究は何やられてたんですか？

ゲーム依存を選択して、カードゲーム作ってゲーム依存を解決しようってやってました。それが印象に残ってるのは、何も学部決まってる時に、うつすら文学部の言語コミュニケーション学域行つて見たいなって漠然と思ってる時で。でも田辺先生に、「いや、あーたそれ研究者え直した方がいいよ」って言われて、「えーっそうですか」とか言いながら、模索した一年間でしたね。あと、模索したからこそ、AP授業で、経営者の前で発表したんですよ。

―個人の？

個人の発表をして、経営者の人から褒められたりとかして、寺田校長から表彰状もらったりとかして、それもめっちゃ嬉しかったです。あと、最終的に心の問題とかに興味持つて、今総合心理学部に在籍してるので、探究授業に思入れあるなあって感じがします。

―最初は学部決まっていなかったっておっしゃってましたけど、いつから総合心理に興味持つようになったんですか？

そもそも、初めの夏ぐらい今ぐらいの時期とかは、外国人とコミュニケーションをする場を作ろうみたいな研究テーマに取り組んでました。でも、田辺先生に「自分の体験談なの？」みたいな感じで言われて、「なんだろう。」ってなった時に、自分めっちゃめっちゃゲームをして、ゲームのしすぎで手の震えが出たりとか、冷や汗かいたり、動悸が出たりとか経験をして。「じゃあそれでいいやん！」ってなったのがちょうど八月九月辺りでしたね。そこからどんな研究していくうちに、十二月手前から、希望の書類を出す前ぐらいに、これは総合心理学部にいった方がいいなってなりました。

―じゃあ三年生の途中からテーマを変えて調べ始めたんですか？

そうそう、変えた。

自分の好きを深めて

—今、総合心理学部に行つて、合つてゐるなつて思いますか。

思いますね。取る授業全部が興味ある内容やし、聞いて面白いな、もちろん何言つてんねやろみたいな授業もあるけど、面白い授業もあるし、行つてよかつたなつていうのはすごい思いますね。

—今はどんなことを学ばれてるんですか。

今は、自分の趣味の延長線上で、自分が趣味で推し活して。ライブ行つたりとか、グッズ作つたりとか、聖地巡礼したりとかを趣味にして。その中で、オタクの人とそうじゃない人の金銭感覚にすごい興味を持って、自分たちでバグつてると思わずそのグッズを買つたりすることがあるじゃないですか。そこに、なんでそう思うんだろうとか、どういふ部分で価値観が変わるんだろうつていうのに興味を持って、今それを研究にしようかなつて思つてます。

—今大学ではサークルや部活に入られてますか？

今はアカペラサークルに所属してます。歌つたり、大学二年の時にサークルの幹部をやつたのと、今引退ライブつていう年一回で大きいライブがあるんですけど、その運営幹部に入つてます。

—なんでそのサークルに入られたんですか？

もともと私、歌うことがめっちゃ好きで、文化祭の時とかも場繋ぎで歌つたりもちよつたりして。けど多分立守つて歌を歌うサークルとか部活つてない。それがすごく悔しかったというか、できなかったから、大学でやろうつて思つたのがきっかけですね。

—今は軽音同好会があります。部活には多分なつてないと思うんですけど

ど、バンドやつて歌つたりしてる子もいます。文化祭は有志発表で、ステージの上でライブやつたりしてはります。

ええーあるんや。

—大学の中で大変だった経験とかつてありますか。

全部大変やつた気がするな(笑)。それこそ、さっき言つた大学二、三年のサークルの運営幹部が二年から三年の夏までが活動範囲で、ちょうど三年の夏らへんから、ウインターライブの幹部を三年の時もやつて。その幹部の仕事と両方重なつた時が一番しんどかつたかな。両方考えないといけないし、後輩にも引き継がせないといけないしつていうので、どうしようつてなつてた気がします。

—掛け持ちですか？

そんな感じでやつてました。

—幹部は具体的にどんなことをされてるんですか？

大学二年の運営幹部のやつは、サークルと課題を繋いで交流会を開催したり、外部から来たイベントを自分のサークルに流したり、地域の人から来た連絡をサークルに流したり、橋渡しみたいな役職をしてました。

—繋ぐ役目をやつてたんですね。大学で考え方とか価値観変わつたりしましたか？

高校の時はやるしかない！なんでもやつてみよう！つて感じやつたけど、大学になつてから、課題やつてただけじゃ人は動かない。自分があつて程度何かを練つて、みんなにアイディア出した方が人は動くかなとか。高校は0%で自分で何も考えずにみんなに投げて、みんなでやるぞつて感じやつたけど、大学はそれが通用しないやつて感じた。考える力がついたような気がします(笑)。

―高校と比べて大学生活は大変ですか？

うーん、でも、大変っちゃ大変やけどめっちゃ充実してるなって感じます。自分の人生の中で大学生がいちばん満喫してるなって感じますね。

―今ってもう就活は終わってるんですか？

もう終わってます。一旦はちよつと決めたって感じですね。

―将来はどんな仕事に就く予定ですか？

今はIT人材の会社で、IT業界のエンジニアの人口が不足してるんですけど、その求職者と会社を繋げる人材のお仕事を今はさせて頂こうと思ってます。

*

自分に来たチャンスは全て掴む

―どういうふうに生きていきたいとありますか？

全部に言えることは、一日一日悔い残して生きたくないっていうのはすごいあって、一日の終わりに今日も頑張ったなって思える人生をずっと送り続けたいですね。

―人前に立ったり裏で支えたりするみたいなことをたくさんやってらっしゃるなと思ったんですけど、何でそういうふうに支えるようになったんですか？昔から？

初めは自分が目立ちたかったからっていうエゴやったけど、高校でみんなが文化祭準備してる中で、「文化祭終わったら学校来る意味ある？」って話してる人たちが結構いて、学内のアンケートでも九割以上の人が、「文化祭が学校行事の中で一番好きです」みたいに答えてて。

その裏方の仕事に携わせてもらってめっちゃいいことやなって。その

人たちにとっては、文化祭が学校に来ることの意義みたいになってて、自分がみんなの意義を作るために動いたりするのも楽しいことやから。

みんなの期待が大きいからそれに対して責任感持って取り組まんとって気持ちが上がった瞬間かな。そこからちよつとずつ人を支えることに興味持ったかなって思います。

―人を支える役割をやって、何を得られているとありますか？今の人生に活かせることとか。

他人からの感謝が一番大きいかな、裏で支えてる人ほど、感謝の言葉を伝えられづらい立場ではある。でも、大学に入ってそれを積極的にやって、感謝を結構言われるようになったから、他人からの感謝で結構動けるんやなって。なんか、そういうところがあるかも（笑）。

―自分の人生の中で転機とかありますか？

それこそ立守に入学決めたことかな。第一志望立守やったけど、一回落ちたんよ。はじめに受かった中学校に行く予定やってんだけど、後日立守から電話かかってきて、「追加合格で上がれるんですけどどうですか」って言われたけど、もう初めの中学にお金払ってもらったけど、うちが行きたいっていうのをすごいしゃべっていかせてもらったので転機かな。立守はマジでたまたま（笑）。

―じゃあ電話なかったら違う人生でしたね。

うん。絶対違う人生やったろうなって思う（笑）。ありがとうって感じです。

―なんで立守に絶対行きたかったんですか？

英語を特化して受けたって思ってたし、初めの学校はうちの嫌いな友達が行くって行って、行きたくないかもっていう安直な理由でもあったかな（笑）。

―これまでの選択の中で後悔してることはありませんか？

正味ないかな。間違いやっと思った部分もあるけど、過去の色々を選択して今の自分があるから。

*

誰かのために、自分のままで

―他人から自分がどう見られてると思いますか？

むずいけど、うーん。「太陽みたいな人だね」って言われることが多いけど、あとは「繊細な人」って言われることもあるし、あとは「人に興味めっちゃありそうで実はない」みたいなと言われる。それは恋愛相談とかに乗った時に、結構自分が「いや、それこうした方がいいよ」って結構ズバズバ言っちゃうからやと思うんだけど(笑)

―太陽みたいな人ってのはわかります。明るくて。

わかる！？ありがとうございます(笑)。

―家族という時の自分と友達という時の自分で違うとかってありますか？

うーんあるかも。友達は太陽って言ってくれるけど、家族はうちが受け答えがめっちゃ雑やから、「適当よな(笑)」って言われる。

―歳離れてるなら結構可愛がってもらいましたか？

昔はすごい可愛がってもらった。今はもうおじさんとおばさんみたいな立ち位置やから難しいけど。

―兄弟との関係性は年齢重ねるごとに変わりましたか？

いや、そんな変わらなかつたけど、お兄ちゃんはずっとめっちゃ好きやつたし、ずっと遊んでもらってた。お姉ちゃんは吹奏楽部に入ってたのもあって、そんな構ってもらえなかったイメージもある。でも、今大

阪で暮らしてるんやけど、家に帰ってきた時にもの買ってきてくれたりプレゼント持って帰ってきてくれたりとかするのはあるかな。

―どういう友達が多いですか？

結構バラバラやけど、比率が多いのは、メンタル的に落ちやすい子と、あと物静かな子の方が逆に多いかも。

―支えてるって感じですか？

そんな感じ。相談乗ったりも結構する方かな。

―友達関係の中で大事にしていることはありますか？

「よっ友」(*挨拶する程度の、知り合い以上友達未満の関係を表す俗語)が多くて。インスタでおもしろい投稿上げてたらそれに返信するぐらいの仲が多くて、その関係性でいても、会話をできる限り続けるとか、相槌打つとかは意識してるかな。でもあんまわからん(笑)。

―広く仲良いって感じですか？

広く浅くで、深くが何人かぐらい。

―高校時代からずっと仲良い人はいますか？

いるいる。高校ではグローバルコースに行つたんやけど、高二から仲良くしてる子は今も学部が一緒やし、最近も焼肉一緒に行った。生徒会メンバーも何人かはめっちゃ仲良くしてくれてるから、飲み会行ったりとかも。今でも縁は続いてる人は続いてるって感じはするな。

―疎遠にならない方法とあってありますか？

えーなってる子もいるしな(笑)。卒業する時にインスタ交換するとかじゃない？(笑)。あと何かしらインスタにいいねとか反応つけるとか。

―大学生になったら部活とか生徒会のメンバーと集まったりするのは結構難しいですか？

結構難しいかも。日程もめっちゃ先になったりしがち。

—それぞれ忙しいですね。

—そうそうそんな感じやと思う。

—今年で大学も卒業だと思うんですけど、これからの仕事でこれだけは大事にしていきたいことってありますか？

仕事とプライベートのメリハリをつけるのを大事にしようと思って、プライベートに入り込んでまで仕事をするのは結構しんどい思ってる。だから生徒会の時も、この時間までは生徒会の仕事をする、そのあとは絶対何もしないひんみたいなの。だから、連絡もしないひんって決めて、朝に返信したりもしてたり、メリハリはつけられないとなってる。一人でいるし、自由時間やのに縛られてる感じがして息苦しいから、それは今後も続けたいかなって思ってる。

—ありがとうございます。

【感想】

人前に立つことも裏で支える役割も、両立している姿がすごいと思った。その行動力は感謝の気持ちから来ているのだと感じた。感謝の大切さを身をもって理解しているからこそ、感謝することもされることも大切にし、それがさらに行動力へとつながっているのだと思う。立守の先輩として、人生の先輩として見習うべき尊敬する部分がたくさんあった。私にとって、新しい価値観を知る素晴らしい機会となった。この機会を設けていただいた全ての方に感謝している。



左：語り手 畠中菜々子さん

右：聞き手 中島優里花